

令和元年度千葉県博物館文化セミナー

千葉学講座のご案内

「千葉学講座」は県立博物館5館8施設の調査研究活動の成果を県民へ還元することを目的としています。博物館職員と県民の方々が共にこの講座を通じて房総を再発見し、地域に立脚したコミュニティづくりや、地域の発展等に寄与することを目指します。奮ってのご参加をお待ちしております。

- 会場：千葉県立中央博物館 講堂
- 受講料：無料
- 事業主体：
千葉県立美術館・千葉県立中央博物館(本館・大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館)・千葉県立現代産業科学館・
千葉県立関宿城博物館・千葉県立房総のむら(指定管理者: 公益財団法人千葉県教育振興財団)
- 問い合わせ：千葉県立中央博物館 企画調整課 電話 043-265-3111

講演① 千葉県の「県の石」が語る大地のなりたち

千葉県立中央博物館 地学研究科長 高橋 直樹

2016年に日本地質学会により全国各県の「県の石」が選定されました。「県の石」は岩石、鉱物、化石の3種類からなり、このうち千葉県では、それぞれ「房州石(ぼうしゅういし)(凝灰質砂岩・細礫岩)」、(富津市・鋸南町)、「千葉石(ちばせき)」(南房総市)、「木下貝層(きおろしかいそう)の貝化石群」(印西市ほか)と決定されました。時代も地域もバラエティに富み、全体として、プレートの沈み込みに直面し、大地の隆起が激しい千葉県の大地の特徴をよく表していると言えます。これらを題材にしながら、房総半島の大地の成り立ちをみていきます。

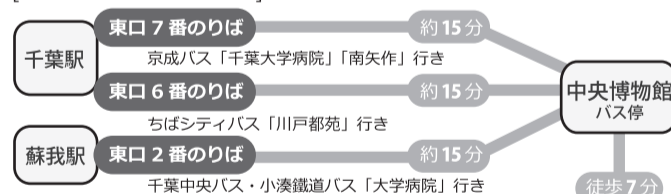
講演② 彫刻について

千葉県立美術館 普及課長 廣川 政和

昨年度当館で開催したアートコレクション「具象彫刻展」、アートコレクション・プラス「具象彫刻の今」の企画・展示の様子を振り返りながら、演者の経験をもとに実際の彫刻制作の過程や作家とのエピソードなど、「彫刻」とは何か?を可能な限り分かりやすく伝えます。



[電車・バスをご利用の場合]



[自動車をご利用の場合]



千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

問い合わせ 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 (青葉の森公園内)
TEL: 043-265-3111 (代表) FAX: 043-266-2481

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

Follow @chiba_chuohaku